

コード	103050110
記入日	H.21.6.10

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	竹中次郎
担当者	荒木順一郎

事務事業事後評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	桐古里地区バス待合所建設工事
----------	----------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	103	施策名称	しまを支える交通基盤づくり	項コード	1
基本事業コード	10305	基本事業名称	バス交通の充実	目コード	1
事務事業コード	1030501	事務事業名称	地区交通整備事業費	細目コード	881
関連計画			法令・条例規則等		

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象: 誰、何を対象にしているのか		対象指標: 対象の大きさを表す指標				
(対象1)	待合所	(対象指標1)	2			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
***	待合所建設 2箇所 工事費 2,819,250円	*** 待合所	*** 2箇所	*** 100%	計画どおりの待合所建設	*** 平成20年度
		①	(達成率分析) 計画通り待合所2箇所建設した。			
		②	(達成率分析)			
目的: 何をしたいのか		成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*** 地区住民	*** 335人	*** 100%	地域住民数/計画住民数	*** 平成20年度
バス待合所として、椅子の設置と雨、横風をしのぐ屋根、壁のある待合所を2箇所建設する。		①	(達成率分析) 桐古里地区住民の利便性の向上が図れた。			
		②	(達成率分析)			

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 20 ~ H 20		平成19年度以前	平成20年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 箇所	2	2		2	2
	②					
成果指標	① 人	335	335		335	335
	②					
総事業費C(A+B)	千円	3,520	3,520		3,520	3,520
直接事業費A	千円	2,820	2,820		2,820	2,820
人件費B	千円	700	700		700	700
内訳	従事職員数	人	0.1		0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円	2,600	2,600		2,600
	その他	千円	220	220		220
一般財源	千円	700	700		700	700

コード 103050110

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	バス待合所の公共性を考えれば、必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	車社会とはいえ、地区住民の足としてバスの利用は欠かせない。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	バスを待つ人の憩いと、風雨を防ぐために必要。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	地区の住民の要望に合う待合所を建設できた。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	少ない事業費で、地区の住民の要望に合う待合所を建設できた。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	天候によっては、バスを待つ間に濡れたり、風を防げない。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	各地区にバス停は、それぞれあるため、整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	厳正な指名競争入札による。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	最小の人員で行っており削減できない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	受益者負担にそぐわない。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点	
	現在のところ計画を見直す必要はない。	
1次評価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	
	なし	
2次評価	住民の利便性向上のため今後とも施設の状況を把握し、適切な管理に努めること。	

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。